

評価問題例

【評価問題】

右の絵を見て、シーソーになったつもりで文章を書きました。
それぞれの文章のよいところを説明しなさい。



山口さん：女の子がビュン。今度は男の子がビュン。ああいそがしい。いそがしい。それにおしりも痛くてたまらない。みんなは楽しいけど、ぼくは大変。

松本さん：「それ、いくよ。」と男の子が言うと「わあ、降りれないよ。」と女の子が言う。ほんとに二人は楽しそう。本当に仲良しなんだな。

高橋さん：女の子が上がる時、一しゅんふわっと軽くなるのは気持ちいい。どしんとおしりをぶつけるのも楽しい。夕暮れ。みんなが帰って独りぼっちになると本当にさみしい。

山口さん

松本さん

高橋さん

評価問題のポイント

授業で学んだ「会話」「様子」「音」「気持ち」を観点として問題文を検討し、気付いたことを文章で説明させる問題とした。

評価問題に取組ませる際には、傍線を引いたり、気付いたことを書き込んだりした後で、下に説明するよう、手順を具体的に指示する。また、3人それぞれの表現の特徴にも目を向けるように助言する。

評価に際しては、効果的な表現がなされている言葉を具体的に挙げているか、根拠として「会話」「様子」「音」「気持ち」などの言葉が適切に使われているかを評価する。